下記のスペースは、添削欄ですので空けておいてください。

淳司君へ、初めまして作文小論文専門学院の横矢充広です。これからよろしくお願いします。番号をつけて、ひとつずつ分かりやすく説明しますからね。

①グラフを見て、感じたことを書けましたね。あとは、一段落の書き方をマスターしておきましょう。テキストの第三章（別冊）をしっかり読むといいですよ。今回のように、グラフや課題文を読んでから書くタイプの場合は、この一段落の内容がとても大切です。内容によっては大きく減点されることがあります。書き方としては、次の二つを入れるとよいでしょう。

（一つ目）…グラフや課題文が何を表しているのか書く。ポイントは、最も大きな特徴をとらえることですよ。今回だと、小学生に比べて中学生・高校生のほうが読書をしていませんよね。これが大きな特徴ですね。

（二つ目）…一つ目の内容について、自分はどう思うのか書く。今回なら、小学生に比べて中学生・高校生が読書していないことについて、どう思うのか書けばいいですよ。

㊟この二つを書いていないと、大きく減点される可能性があります。なぜならば、次の二つの理由があるからです。

（注1）グラフや課題文をしっかりと読みとれているかチェックしているから。

（注2）そこから何を感じているのか、あなたの発想力をチェックしているから。

淳司君の文章（一段落）には、もうひとつ大きな注意ポイントがあります。それは、ひとつにしぼることです。

⇐ぼう線①とぼう線③を見てください。二つのことを書いていますよね。ぼう線①では、小学生から高校生までのことを書いて、ぼう線③では、中学生と高校生のことを書いていますよね。今回のグラフの特徴は、中学生・高校生の読書量の少なさなので、③にしぼって書くとよいでしょう。

⇐一段落をどのように書くのか、例文を示しておきますね。

（例）このグラフを見ると、中学生と高校生の読書量が少ないことが分かります。小学生と比べると、三分の一以下の読書量しかありません。これは、パソコンやテレビの見方と大きな関係があり、とても深刻な問題だと思います。

⇐パソコンやテレビを見ている時間が長いから、読書量が少なくなっているという考えですね。

☆いろいろと説明しましたが分かってもらえましたか。一段落は大切なので、しっかりと学習していきましょうね。

②からの内容は、二枚目で説明しますね。

---

①このグラフを見て小学生から高校生までの人がだんだんだん読書をしないようになっているんだなと思った。高校生、中学生は本がきらいなのかなと思った。

⑤ぼくもあまり本は読みません。なぜかというとめんどうだし、テレビなどでも分かることが多いと思います。なのでひと月に1さつも読みません。本を読まないことはよくないことだと思います。クラスには本をたくさん読む女の子がいます。この子が頭がよくて成

作文小論文専門学院 20 × 10（縦書き）

この部分はあまり出てはいけません。よくあるミスなので気をつけておきましょうね。

漢字にしておきましょうね。